

令和元年度
(2019年度)

事業報告書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

当協会は、人権尊重を基調とした地域社会づくりに寄与するため、吹田市が進める多文化共生社会推進の考え方にのっとり、国際化促進と市民の国際交流活動の支援、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成、地域で暮らす多様な人々の支援など多岐にわたる事業を展開しています。

本報告書では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月下旬以降事業を中止した影響を、中止回数等にて記載しています。

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民が主体となって国際交流や国際理解を進め、多様な価値観を認め合う地域社会の実現を推進します。

1 友好交流都市との交流事業(吹田市補助金事業)

オーストラリアにあるカンタベリバンクスタウン市との交流事業は、吹田市に協力する形で事業を進めています。2020年4月に関係者の吹田市訪問予定があり事前準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。したがって今年度組織的な活動は発生しませんでした。今後も交流事業を前進させていきます。

スリランカのモラトワ市との交流事業についても、吹田市に協力する形で事業を進めています。組織的な活動はありませんでしたが、今後も交流事業を前進させていきます。

2 国際交流情報の収集及び発信(ホームページのみ吹田市補助金事業、他は自主事業)

(1) 会報SIFA Timesの発行、年4回、各回2, 100部

当協会の事業紹介・活動報告、在住外国人向け多言語情報、近隣他団体の情報などを掲載し、当協会会員、行政関係、教育機関、国際交流関係機関などに送付しています。

(2) 国際交流情報の収集及び発信

多言語のホームページとフェイスブック、留学生や在住外国人向けの多言語メールマガジスト「ミミヨリINFO」などの活用により、当協会が収集した国際交流情報を発信し、必要な人が必要ときに適切に情報を得られるようにしました。「ミミヨリINFO」は、やさしい日本語、英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語などで発信しています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、厚生情報や市の関連情報の提供なども配信しています。

3 市内大学との連携による留学生などと市民の交流

(1) 市内の大学などのホストファミリープログラムの支援(吹田市補助金事業)

ア 大阪大学ホストファミリープログラム(大阪大学国際教育交流センター)

留学生及びホストファミリーが互いの文化・習慣を知り、相互理解を深めることをねらいとし

て、家族ぐるみでの国際交流活動を、ホストファミリー世話人を中心に実施しました。

交流期間：① 春季プログラム(4月～9月) 交流家庭:27家庭

交流期間：② 秋季プログラム(10月～3月) 交流家庭:37家庭

イ ホストファミリーボランティア説明会(兼研修会)

開催日:7月21日 参加者:13組(20名)、内9組がボランティアとして登録

開催日:2月16日 参加者:11組(16名)、内11組がボランティアとして登録

ウ ホストファミリー交流会

第1回ホストファミリー交流会 みんなでPicnic

開催日:5月18日 場所:千里南公園 参加者:61名(18家族、留学生18名)

第2回ホストファミリー交流会 Potluck Party

開催日:12月8日 場所:南千里地区公民館 参加者:72名(19家族、留学生23名)

春季大阪大学ホストファミリープログラムは、2019年2月に実施したホストファミリーボランティア説明会での新規登録者も参加して、4月に出会いの会を実施、結果留学生との組み合わせを27組作ることができました。期間中、5月にピクニックを兼ねてホストファミリー交流会を実施、「ことば作りゲーム」などで親睦を図りました。

秋季大阪大学ホストファミリープログラムは、2019年7月に実施したホストファミリーボランティア説明会での新規登録者も参加して、9月・10月に出会いの会を実施、結果留学生との組み合わせを37組作ることができました。期間中、12月に手作りハラルフードなどの各国の様々な料理が並ぶPotluck Partyを実施、各国ゲーム等で各組間の繋がりを深めることができました。

エ 他団体からのホストステイファミリー募集に協力

① 大阪学院大学CETアカデミックプログラムによりアメリカインディアナ州高校生来日のホストステイファミリー募集

内容:インディアナ州から高校生12名が大阪高校へ留学生として来日、学生の日本語能力の向上を目指し受入れ側には異文化体験をして頂きました。

実施日:6月18日～7月22日

② 大阪大学医学部国際医療研究会によりタイ・マヒドン大学医学部生5名来日のホストステイファミリー募集

内容:毎年交換留学プログラムを行っており、マヒドン大学医学生が大阪大学付属病院で実習し、日本における先端医療・研究を学んでもらう機会としました。

実施日:7月2日～7月8日

II 国際化推進の人づくり支援

1 国際交流ボランティア活動支援

地域の中に積極的に外国人を受け入れ、自主的な交流を目指しているSIFA登録ボランティアをサポートする一方、研修会を実施しスキルアップを図るとともに、バランスの良い運営ができるようコーディネートしました。

(1) 国際交流ボランティア登録(吹田市補助金事業)

登録ボランティアの活動メニュー：日本語チューター／にこにこ日本語／生活の漢字／日本語わいわい／ハロハロSQUARE／こあらくらぶ／翻訳・通訳／コミュニティ通訳病院同行／コミュニティ通訳行政窓口同行／ホストファミリー／SIFA Times発送／保育／多文化まつり

登録者：261名（内訳：日本人 226名、外国人 35名）

外国人の国籍：中国・台湾・韓国・イラン・ベトナム・ブラジル

（昨年度登録者：223名 内訳：日本人 207名、外国人16名／中国、台湾、韓国）

ア ボランティア登録説明会

開催日：7月21日 参加者：13名 新規ボランティア登録者数 9名

開催日：2月16日 参加者：41名 新規ボランティア登録者数 34名

場所：ラコルタ 他

(2) ボランティア講座(吹田市補助金事業)

ア 「はじめてのボランティア」講座

開催日：① 7月21日 場所：ラコルタ 講師：ラコルタ職員 参加者：13名

開催日：② 2月16日 場所：ラコルタ 講師：ラコルタ職員 参加者：41名

講座では、ラコルタ職員から、ボランティアの心構えと外国人との接し方について講義をいただきました。

イ 「はじめての日本語ボランティア」講座

開催日：4月2日 場所：ラコルタ 講師：榎原智子氏 参加者：3名

開催日：4月6日 場所：ラコルタ 講師：榎原智子氏 参加者：10名

日本語ボランティアの新規登録者を対象に「やさしい日本語」や「ボランティアの心構え」を学びました。

(3) ボランティアによる日本語学習支援

SIFAでは2012年から地域で暮らす市民が日本語交流活動を通してともに学ぶ教室を開

催しています。日本語教室の目的を明示すると同時に、この取組をもっと地域にも発信していきたいとの思いから、わたしたちが大切にしている基本理念を宣言として作成しました。

日本語交流活動宣言

(公財)吹田市国際交流協会
日本語支援ボランティア

吹田市国際交流協会と日本語支援ボランティアであるわたしたちは、日本語教室での定期的な交流活動を通して地域に暮らす外国人の日本語とそれにまつわる暮らしの課題に関わり、同じ地域に住む市民として相互にそれぞれの文化や生活習慣を尊重し合い、より豊かな多文化共生社会の実現を目指して日本語交流活動に取り組むことを宣言します。

1. 外国人が自立した社会生活を行い、多様な人々とコミュニケーションを図り、地域に根ざして自分らしく豊かに暮らせるよう日本語習得の支援をします。
2. 同じ地域に暮らす市民として寄り添い、教室参加者がつながり、よい関係を築き、情報交換や相談ができる居場所をつくります。
3. 活動を通してつながりの輪を広げ、地域のさまざまな人と交友を深め、だれもが安心して安全に暮らしてほしい環境づくりに努めます。
4. 地域住民が外国人の日本語や暮らしの課題に関心を持ち、相互理解が深まるよう、地域社会に向けた広報活動に取り組みます。

2020年4月公布

上記の日本語交流宣言にも明確に現れているように、SIFAでは日本語教室を地域の多文化共生を実現するための中心的事業であると位置づけています。そのため、文化庁による助成などに関しても積極的に応募をしてきました、現在、日本語教室関連事業は市委託事業と市補助金事業及びSIFA自主事業(文化庁助成事業を含む。)が運営されています。一般的に、日本語教室は受講者の負担を極力抑えた支援の意味合いが強く事業資金の確保が重要となります。外国人増加に伴い教室へのニーズは増えており、常に空き待ちの状態でクラス増が望まれています。一方、SIFAの経営状況から、自主事業を増やしてこれ以上の赤字を拡大させることはできない状況にあります。また文化庁等からの助成金は単年度で、日本語教育事業の質の向上とともに外国人住民等の新たなニーズを掘り起こすことを目的としており、定常的な運営に使えません。

以上の背景から、中級クラスの増設(週1回、年間40回)が必要な市委託事業は、次年度以降33.1万円の委託料増加を要請します。市補助金事業の日本語関連では、文化庁の助成を受けて質を上げ受講者数も2017年度比で3割増加を予定しているため、次年度以

降40万円の補助金増額を要請します。

ア 日本語チューター(吹田市補助金事業)

外国人学習者と地域住民であるボランティアとがともに日本語を学習できる機会として設置しました。教室の空き待ち学習希望者が増えており、次年度から新規学習者が優先的に参加できるよう申込受付方法を工夫する予定です。本事業はボランティアによる自主運営が基本ですが、多くのボランティアが平等に活動できるようにコーディネートしています。

開催日: 4月～3月 場所: SIFA 参加者延べ組数合計:775組
朝クラス 39回(内3回中止) 参加者延べ組数:199組(受講者・ボランティア)
昼クラス 39回(内3回中止) 参加者延べ組数:212組(受講者・ボランティア)
夜クラス 41回(内3回中止) 参加者延べ組数:364組(受講者・ボランティア)

イ にこにこ日本語(吹田市補助金事業)

少人数グループで、ボランティアとともに学ぶ日本語教室です。SIFAが作成した対話型教材「はじめてのにこにこ」と「にこにこ」を使用してレベルに合わせた学習ができました。ボランティアミーティングにより課題を共有しつつ、ボランティアの自主的な活動を推進しています。学習者の日本語力を深めるだけでなく、日本語交流活動を通してボランティア自身が日本文化について理解を深め、学習者とともに学び合い育ち合う機会となり、学習者・ボランティア双方にとって満足度の高い事業となりました。学習者からは週末に学習機会を設けることが求められており、活動資金の充足が必要です。

開催日:4月～3月 全39回(内4回中止) 場所:SIFA 他
参加者:受講者延べ人数 363人 ボランティア延べ人数 406人

主なイベント:

開催日:4月6日 内容:ボランティアガイダンス&ミーティング 場所:ラコルタ
開催日:7月13日 内容:課外活動としてアサヒビール吹田工場見学
参加者:受講者 15名、ボランティア 16名
開催日:12月14日 内容:年末パーティー 場所:ラコルタ
参加者:受講者 16名、ボランティア 18名
開催日:3月7日 内容:クッキング 場所:南千里地区公民館調理室(中止)

(4) 日本語交流活動の輪を地域に広げよう! 事業(文化庁委託事業)

日本語交流活動「にこにこ」を普及させ多文化共生の輪を地域に広げるとともに、一定の日本語能力と多様な文化をもつ外国人人材を育成し社会参加へ導くことを目的として、文化庁委託事業を実施しました。

事業名称:「吹田版日本語交流活動の輪を地域に広げよう! ~会話も漢字も交流も! ~」
事業の内容:

① 日本語教室「外国人のための生活の漢字教室」の実施

地域に根ざし、豊かに暮らしていけることを目指して「生活の漢字」を習得できる教室を実施し、研修を受講したボランティアが中心となり運営を行いました。

教室回数:24回 (内3回中止) 場所:SIFA

参加者:受講者延べ人数 198人、ボランティア延べ人数 196人)

② 日本語教室「日本語わいわい」の実施

外国人当事者が自らの学習経験や日本での生活経験を生かして後輩外国人の日本語と生活をサポートする居場所につながる教室活動を行いました。教室コーディネーターを2名配置し、本事業で研修を受講したボランティアによって教室運営を行いました。

教室回数:18回 (内2回中止) 場所:ラコルタ等

参加者:受講者延べ人数 102人、ボランティア延べ人数 144人

③ 「外国人のための生活の漢字教室」ボランティア養成講座の実施

地域に根ざし、豊かに暮らしていけることを目指して「生活の漢字」を支援できるボランティアの育成講座を実施しました。受講者24名中18名がボランティアとして登録しました。

教室回数:10回 (内1回中止) 場所:SIFA等

講師:「生活の漢字をかんがえる会」講師 受講者延べ人数:154人

④ 「日本語わいわい」ボランティア養成講座の実施

自らの学習経験や生活経験を生かして後輩外国人の日本語と生活をサポートを行うことができる、地域で活躍する外国人人材を育成しました。受講者25名中24名(内外国人10名)がボランティアとして登録しました。

講座回数:3回 場所:千里市民センター等 受講者延べ人数:66人

講師:澤田幸子氏、榎原智子氏

⑤ 「にこにこ日本語」ボランティア ブラッシュアップ講座の実施

外国人と日本人が相互理解と豊かな関係を築くことを目指して活動する「にこにこ」のボランティアを対象にブラッシュアップ講座を実施しました。

講座回数:2回 場所:SIFA 講師:澤田幸子氏 受講者延べ人数:29人

⑥ 「日本語交流活動教材「にこにこ」出前講座」の実施

2014年度・2017年度に文化庁事業で作成した教材「にこにこ」「はじめてのにこにこ」を紹介し、活動の趣旨を理解するボランティアを養成し、市内及び近隣地域の各教室への普及を目的として出前講座を行いました。好評の結果、教材を100冊以上頒布しました。

講座回数:府内10市にて計14回 (講座要請が多く、事業計画回数の約3倍実施)

講師:澤田幸子氏、矢谷久美子氏、榎原智子氏 受講者延べ人数:253人

文化庁事業のトピックスと今後への提言:

- ・外国人人材の社会参加促進については、役に立ちたいと志願する外国人が多数いたことはうれしい発見でした。さらなる活躍の場として、教室活動の継続的な実施が求められます。
- ・吹田市日本語教室ネットワーク連絡会(8団体)所属のボランティアと交流ができました。

・本事業を通じて、当協会事業の指針となる「日本語交流活動宣言」を作成することができました。外国人と日本語で交流することを通してつながりを作り、日本語を伸ばしてもらうことが日本語交流活動の最も重要な目的の一つと考えています。今後はこの宣言を柱として事業展開を進め、より豊かな多文化共生社会の実現に向けて地域に発信していきます。

2 語学教室(自主事業)

学習者の知識や技術習得だけでなく、さまざまな国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外国語に慣れ親しむことを手始めに国際理解の意識を高め、地域でともに生活する隣人としての外国人支援の重要性を伝えました。また、英語学習を通して子どもたちの国際理解を深め、グローバル人材の育成にも努めました。

今年度新たにJR吹田駅前の旭通商店街内に教室を開設しました。大人クラスの英語教室とともに小学生向けの教室を開催し、JR吹田旭通教室の認知度アップを目指しています。また、好評なクラスは、子どもクラスを中心に増設しました。多言語アワーではベトナム語とドイツ語を開講しました。年度の終盤で新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休講になったため、残念がる声が多数寄せられました。

語学教室概要:

教室開講言語:英語、中国語、韓国朝鮮語

多言語アワー言語:ベトナム語、ドイツ語

参加登録人数:516名 (通年クラスは2020年1月時点の受講者登録数)

クラス数:64クラス 年間延べ回数:1944回 受講者延べ人数:14,082人

新型コロナウイルス感染症影響:受講者延べ人数約1,580人(全体の10%)減少

内訳:(一人で複数クラスを受講している場合があります。)

通年クラス:46クラス 年間延べ1840回(内180回中止) 受講者数:372名

短期クラス:16クラス 年間延べ112回(内12回中止) 受講者数:107名

サマーコース:2クラス 年間延べ4回 受講者数:58名

教室開講場所:SIFA、江坂教室、JR吹田旭通教室

(1) 通年、半期クラス

ア 通年クラス・大人

英語 22クラス 受講者:204名

中国語 2クラス 受講者:10名

韓国朝鮮語 2クラス 受講者:16名

イ 通年クラス・子ども

親子(幼児)英語 7クラス 受講者:45名(45組)

小学生英語 11クラス 受講者:91名

中学生英語 1クラス 受講者:3名

高校生英語 1クラス 受講者:3名

(2) 短期クラス

英語で学ぶ世界の国々(レベル3~4)

開催日:5月13日 ~ 7月22日 全10回 受講者:6名

開催日:10月7日~ 12月16日 全9回 受講者:4名

話そうたびえいご(レベル2~3)

開催日:5月7日 ~ 7月9日 全10回 受講者:8名

開催日:10月1日 ~12月10日 全10回 受講者:4名

開催日:1月7日 ~ 3月17日 全10回(内3回中止) 受講者:3名

親子でシング&チャンツ

開催日:1月6日 ~ 3月16日 全5回(内2回中止) 受講者:8組

おさらいハングル

開催日:2月5日 ~ 2月26日 全4回 受講者:6名

(3) Kidsイングリッシュサマークラス

① 対象:小学1~2年生(レベル不問)1クラス

開催日:7月30日、7月31日 2回 受講者:30名

② 対象:小学3~6年生(レベル不問)1クラス

開催日:7月30日、7月31日 2回 受講者:28名

(4) SIFA江坂教室

おもてなし英会話

開催日:10月3日 ~ 12月5日 全10回 受講者:7名

開催日:1月9日 ~ 3月12日 全10回(内2回中止) 受講者:7名

(5) JR吹田旭通教室

話そうたびえいご

開催日:2月4日 ~ 3月17日 全6回(内3回中止) 受講者:13名

はじめての中国語

開催日:2月5日 ~ 2月26日 全4回 受講者:4名

小学生 英語で楽しもう

開催日:2月8日 2回 受講者:小学1-2年 6名 小学3-6年 7名

(6) 多言語アワー ベトナム語

開催日:10月4日 ~ 11月8日 全6回 受講者:9名

多言語アワー ドイツ語

開催日:2月7日 ~ 3月13日 全6回(内2回中止) 受講者:7名

3 異文化理解・啓発事業

(1) 多文化まつり(吹田市補助金事業)

開催日:6月2日 場所:千里ニュータウンプラザ内

後援:吹田市、吹田市教育委員会

多文化共生の街づくりに寄与するとともに、SIFAの活動を広く市民に周知することを目的として、第2回多文化まつりを実施しました。

多文化まつりの概要:

- ・副市長に挨拶をいただき、ステージプログラム数は11、出展団体は18団体ありました。
- ・千里ニュータウンプラザ各施設の協力でスタンプラリーを実施し、吹田市、アサヒビール(株)、エースコック(株)、大幸薬品(株)から提供を受けた協賛品を配布しました。
- ・60名ものボランティアに協力いただき、来場者は推定1,000人になりました。
- ・特筆すべきは外国人ボランティア(24名)と高校生ボランティア(8名)の参加があり、カフェコーナー、外国文化体験ブース、ハロハロコーナーなど多くの場所で活躍いただきました。
- ・衣料品を回収しチャリティーを6月8日に開催、服と売上金と募金は認定NPO法人日本救援衣料センターを通じて海外に寄付しました。(寄贈した衣類:段ボール約25箱、寄付金額:83,798円 内訳:バザー売上、カフェ売上、募金、出展団体寄付)
- ・市の新たな方針により、補助金対象事業である多文化まつりの開催に際しては市の公用申請が受けられなくなり、次年度以降会場の確実な確保が難しくなる見込みです。結果、開催日・場所が決まらない状態での準備を余儀なくされる予想です。

(2) 多文化共生講座(吹田市補助金事業)

テーマ『災害発生、その時どうする? ~となりの外国人に声をかけられますか~』

開催日:2月24日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

大きな災害が起こった場合、言葉の分からない外国人の不安を軽減しスムーズに避難するにはどうしたらいいのか。いざという時に備えてさまざまな場面を想定し、一緒に考えましよう、と言うテーマで講座を準備しましたが、直前に中止しました。

(3) 異文化理解出前講座「地球村ふらす」(吹田市補助金事業)

① 「地球村ふらす」

開催日:9月8日 場所:吹田歴史文化まちづくりセンター浜屋敷 参加者:20名

講師:トク チャン ウエン氏(マレーシア出身)

マレー系・中華系・インド系など多くの民族を抱える国がどのように共生しているのかを、食文化や実体験を交えて、パワーポイントでわかりやすく説明してくれました。

② 「地球村ふらす」

開催日:11月23日 場所:SIFA 参加者:18名

講師:アズアヘ ガマル氏(ベネズエラ出身)

ベネズエラの文化や観光、音楽など多岐にわたる内容でした。伝統的な踊り『ホローポ』の

実演では、参加者が一緒に踊る機会を与えてくれました。講師は日本語に詰まるところもありましたが、参加者がサポートしてくれ、異文化理解が深まりました。

4 子ども国際理解事業

(1) 子ども国際理解事業(吹田市補助金事業)

ア 小学校出前授業 国際理解パッケージ 合計受講者数:1041名

吹田市教育委員会の「ドキドキワールド」プログラムの一つとして、小学生を対象に各国の文化紹介を行い、楽しみながら異文化交流を行う機会を提供しました。今年度は「食べもの編」「ものがたり編」の他に「モノ編」を追加しました。

- ① 10月4日 2回 市立吹田南小学校 6年生3クラス(109名)
内容:食べもの編 コーディネーター:1名 ゲスト:スハイブ氏(マレーシア)
- ② 10月11日 2回 市立吹田南小学校 5年生4クラス(138名)
内容:食べもの編 コーディネーター:1名 ゲスト:メヌシュ氏(イラン)
- ③ 11月7日 2回 市立古江台小学校 2年生3クラス(89名)
内容:ものがたり編 コーディネーター:1名 ゲスト:エヘサン氏(イラン)
- ④ 11月21日 2回 市立山田第三小学校 5年生2クラス(74名)
内容:食べもの編 コーディネーター:1名 ゲスト:メヌシュ氏(イラン)
- ⑤ 11月29日 3回 市立北山田小学校 2年生3クラス(83名)
内容:ものがたり編 コーディネーター:1名 ゲスト:エヘサン氏(イラン)
- ⑥ 12月6日 2回 市立藤白台小学校 2年生3クラス(106名)
内容:ものがたり編 コーディネーター:1名 ゲスト:メヌシュ氏(イラン)
- ⑦ 1月16日 2回 市立岸部第一小学校 3年生1クラス、4年生2クラス(88名)
内容:食べもの編 コーディネーター:1名 ゲスト:中野氏(台湾)
- ⑧ 1月17日 2回 市立桃山台小学校 6年生2クラス(70名)
内容:食べもの編 コーディネーター:1名 ゲスト:メヌシュ氏(イラン)
- ⑨ 1月24日 2回 市立桃山台小学校 6年生1クラス(35名)
市立千里たけみ小学校 6年生1クラス(35名)
内容:食べもの編 コーディネーター:1名 ゲスト:ローラ氏(フランス)
- ⑩ 1月31日 1回 市立千里たけみ小学校 6年生1クラス(35名)
内容:食べもの編 コーディネーター:1名 ゲスト:ローラ氏(フランス)
- ⑪ 2月6日 2回 市立古江台小学校 4年生3クラス(90名)
内容:モノ編 コーディネーター:1名 ゲスト:メヌシュ氏(イラン)
- ⑫ 2月21日 2回 市立古江台小学校 6年生3クラス(89名)
内容:モノ編 コーディネーター:1名 ゲスト:エヘサン氏(イラン)

5 国際交流団体など支援・連携事業

(1) 共催・協賛事業の実施及び名義後援(市民グループなどとの協働及び連携)

地域における多文化共生社会づくりの一環として、国際交流団体などの実施する事業に対して、共催・後援などの支援を行いました。

ア 共催事業の実施

① 異文化理解出前講座「地球村ふらす」

開催日:9月8日 参加者:20名 場所:吹田歴史文化まちづくりセンター浜屋敷

講師:トク チャン ウエン氏(マレーシア出身)

共催:(特活)吹田歴史文化まちづくり協会

※詳細は異文化理解出前講座「地球村ふらす」に記載しました。

イ 協賛事業の実施

協賛事業はありませんでした。

ウ 名義後援

・2019多民族共生人権研究集会

開催日:7月30日 場所:大阪市立阿倍野区民センター

主催:2019多民族共生人権研究集会実行委員会

・ワークショップ&講演「多言語で子育て!自分育て!」

開催日:6月22日~6月30日 計6回b 場所:吹田市市民公益活動センター他

開催日:11月17日~11月24日 計6回 場所:吹田市市民公益活動センター他

・JAPEC子ども英語フェスタ

開催日:11月23日 場所:朝日生命ホール 主催:(一社)日本児童英語振興協会

・ENMUSUBI (外国人留学生のための就活イベント)

開催日:7月23日 場所:エール学園 主催:森興産(株)

・和洋フェスタ

開催日:10月5日 場所:江坂ホール 主催:ホープ・フォー・ジャパン

・Giving-Christmas Concert

開催日:12月15日 場所:江坂ホール 主催:ホープ・フォー・ジャパン

・第16回すいたアジアンフェア

開催日:10月19日~10月20日 場所:JR吹田駅前 さんくす夢広場

主催:アジアンフェア実行委員会

(2) 協働及び連携事業の実施(国際交流組織などとの協働及び連携)

関係する行政機関や国際交流機関、大学などと広く連携し成果を収めました。

ア CARES—Osaka事業

※学校法人関西大学委託事業

関西大学が文部科学省から委託を受けた「住環境・就職支援等留学生の受け入れ環境充実事業」におけるCARES—Osaka事業を受託し実施しました。本事業では、留学生の就職に関する情報や社会生活上での問題解決につながる法律などの専門家アドバイスを
得る機会を提供しました。また、小学校におけるALTの授業や小学校生活の一部を体験し、
ALTや英語教員に対する具体的なイメージを持つ機会も提供しました。

① CARES CAFE 「わらしべ長者」

開催日:6月17日 参加留学生:3名

テーマ:『生活ガイダンス』 講師:『生活ガイダンス』 OFIX 常見氏、姜氏

開催日:7月8日 参加留学生:11名

テーマ:『日本の企業教育』『弁護士・法学部生による無料法律相談会』

講師:『日本の会社を知ろう』講座 森興産 森代表

開催日:10月28日 参加留学生:8名

テーマ:『法律ミニ講座』『弁護士・法学部生による無料法律相談会』

講師:法律ミニ講座『日本で働くための在留資格』 忠政弁護士

『使える敬語』 菊池氏(SIFAボランティア)

通訳:『弁護士・法学部生による無料法律相談会』:松下氏

開催日:11月18日 参加留学生:5名

テーマ:『日本企業で働く』『弁護士・法学部生による無料法律相談会』

講師:『日本企業で働く先輩のアドバイス』 森興産 陳麗氏

開催日:12月16日 参加留学生:7名

テーマ:『小学校体験報告会』『弁護士・法学部生による無料法律相談会』

併設イベント:『日本文化体験』 講師:『日本文化おせち料理体験』井川賀子氏

開催日:1月20日 参加留学生:0名

テーマ:『法律ミニ講座』『弁護士・法学部生による無料法律相談会』

講師:法律ミニ講座弁護士 1名招聘 通訳:法律相談用通訳1名招聘

② 小学校体験事業

日程:10月～11月 参加留学生:12名

協力校:2校 (吹田市立千里第二小学校、吹田市立桃山台小学校)

③ 留学生と住民との地域交流 つくもスノーフェスタ参加

開催日:2月2日 場所:アップ神鍋スキー場(兵庫県) 雪不足のため中止

イ MUSEたかつきカレッジクラブ講座「Easy Peasy English」

※株式会社関大パンセ委託事業

前期 開催日:6月7日 ～ 7月19日 全6回 場所:ジオタワー高槻ミュージズフロント3階

受講者:23名 (小学1、2年生クラス 15名 小学3～6年生クラス 8名)

後期 開催日:9月20日～11月29日 全6回 場所:ジオタワー高槻ミュージズフロント3階
受講者:16名 (小学1、2年生クラス 12名 小学3～6年生クラス 4名)
内容:ゲームやカードなどを通して英語を楽しく学ぶ講座 講師:ジョン ファム氏

(3) 関西大学南千里国際プラザとの連携(自主事業)

春、秋の留学生の入学式、卒業式へ臨席するとともに、地域の中での受け入れ支援体制について情報提供し、地域住民の一人としてともに快適に暮らせるように連携しました。

(4) 国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会に参画

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」(構成11団体)に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、機関などとのつながりの場を作り、さまざまな情報を相互交換し、広域的な相互連携、協力できる体制を継続しました。

① 外国人向け無料相談会

第1回 開催日:10月19日 場所:池田市立中央公民館

第2回 開催日:1月19日 場所:とんだばやし国際交流協会

② パネルディスカッション

改正入管法の施行から約1年を迎え、近畿地域の地域国際化協会、市町村国際交流協会、各自治体の国際化担当課、外国人支援のNPOなどを対象にして、有識者や行政、国際交流の現場からパネリストを招き、パネルディスカッションを実施しました。

テーマ: 近畿発!今、あらためて「多文化共生」を問い直す～PART2～

開催日:2月7日 場所:とよなか男女共同参画推進センター すてっぷホール

(5) 吹田市国際交流団体ネットワーク構成団体との連携

吹田市内で活動する国際交流関連の各種団体18団体で構成しています。SIFAのホームページに団体紹介を掲載しており、まつりなどのイベントでは連携して活動しています。

Ⅲ 在住外国人の支援

1 日本語教室の開催

※(吹田市委託事業「在住外国籍市民のための日本語教室運営事業」)

(1) 日本語教室

日本語を初めて学ぶ人から簡単な会話ができるまでの2クラスを開講しました。就学前の子どもがいる学習者のためにボランティアによる保育付きのクラスも設けました。日本語の習得だけでなく、生活情報の取得や仲間との交流など、外国人の生活基盤を築く上で重要な役割になっています。クラス時間数の増加、無料中級クラスの開講など学習者からの要望に

対し、リソースの制約上十分にはこたえきれていない状況です。

安全かつ健康で子育てや仕事をして暮らしていくためには日本語1・2を習得しただけでは不十分です。市委託事業として中級クラスを実施するための予算付けを要望します。

開催日：前期（4月～9月）、後期（10月～3月） 場所：SIFA
受講者：日本語1:前期 40回（保育あり） 受講者延べ人数:395人、
後期 40回（内7回中止） 受講者延べ人数:404人
日本語2:前期 40回 受講者延べ人数:369人
後期 40回（内7回中止）（保育あり）受講者延べ人数:457人、

(2) 日本語教室発表会

日本語教室発表会は、日本語ボランティアやSIFA教室受講生などの地域の方と発表者の家族など多くの人に見ていただき、後の交流会と含めて、地域交流の場にもなりました。

開催日:12月8日 場所:ラコルタ 参加者:74名（発表者:14名 観覧者:60名）

(3) 吹田市日本語教室ネットワーク連絡会

吹田市内の日本語教室が集まり、情報や課題を共有し、教室間・ボランティア間の交流を図りました。構成団体は、おしゃべり会、西山田あいうえお、日本語クラブ、やさしい日本語、識字学級文字板クラブ、竹の子にほんご交流会、千里国際友好会、SIFAの8団体です。6月には連絡会主催の事業として、万博記念公園にて交流会を実施し連帯を深めました。

連絡会 開催日:5月22日、2月26日 場所:SIFA

交流会 開催日:6月9日 場所:万博記念公園 参加者:18名

2 コミュニティ通訳ボランティア同行事業

(1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業（吹田市補助金事業）

日本語による会話が十分でない外国人が、言葉の壁により医療機関などを利用する機会が失われないように、市内提携病院や保健センターなどを利用する際にSIFAのコミュニティ通訳ボランティアが同行し、診察時などにて通訳を行いました。

今年度は、大阪大学医療通訳養成コース修了者を対象にボランティアを募集、SIFAでの修了試験を実施し、英語3名中国語3名のボランティアを増員しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、ボランティアが病院への同行を辞退するケースも発生しました。

同行医療機関など:吹田市民病院・済生会吹田病院・済生会千里病院・

吹田市立保健センター・愛仁会井上病院(旧名:蒼龍会井上病院)

ア コミュニティ通訳病院同行

同行件数:166件（中国語:93件、英語:73件、韓国朝鮮語:0件）

イ コミュニティ通訳ボランティア同行事業関係者会議

開催日:6月18日、 2月18日 場所:SIFA

(2) コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行事業(吹田市委託事業)

外国籍市民が吹田市役所等で各種手続きや相談等を行う際に同行し、円滑に手続きや相談が行われ、公平な行政サービスを受けるためのサポートをする「行政通訳ボランティア」の養成講座を開講し、行政窓口同行事業を実施しました。

ア コミュニティ通訳行政窓口養成講座

- ① 開催日:11月8日 場所:ラコルタ 内容:オリエンテーション
コミュニティ通訳概論・通訳の役割・倫理・行動規範/ケーススタディ
講師:金城学院大学 教授 水野真木子氏
- ② 開催日:11月9日 場所:ラコルタ 内容:通訳基礎トレーニング
講師:金城学院大学 教授 水野真木子氏
- ③ 開催日:11月13日 場所:吹田市役所本庁会議室
内容:国民年金課/市民課/保育幼稚園室(ロールプレイ含) 講師:吹田市役所職員
- ④ 開催日:11月15日 場所:吹田市役所本庁会議室
内容:教育委員会学務課(ロールプレイ含) 講師:吹田市役所職員
- ⑤ 開催日:11月21日 場所:SIFA 内容:修了試験(筆記、面接、語学力チェック)
受講者及び修了者・登録者:8名 (中国語7名 韓国朝鮮語1名)

イ コミュニティ通訳行政窓口同行事業

2018年度からスタートした行政窓口同行事業は、幼稚園や小中学校から懇談会などの通訳依頼が7割以上を占めています。予算72件に対し件数の少なかった分として、吹田市委託金773,928円から29,040円を吹田市に返却しました。

通訳ボランティア行政窓口依頼実績:66回

依頼言語:英語44件、中国語22件、韓国朝鮮語0件

言語別勉強会及び通訳ボランティアミーティング

災害をテーマにした言語別勉強会を実施しました。

第1回 開催日:8月28日 参加者:10名

第2回 開催日:1月29日 参加者:16名

3 コミュニティ通訳ボランティアスキルアップ研修 (吹田市委託事業)

(1) コミュニティ通訳ボランティアスキルアップ研修

- ① 開催日:9月13日 参加者:9名
場所:済生会千里病院 災害管理棟1F 第一会議室
講師:済生会千里病院 認知症看護認定看護師 木村綾子氏
認知症の種類・診断方法・治療方法等の具体的な内容を教わった。
- ② 開催日:2月28日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 通訳ボランティア勉強会(英語)

開催日:① 8月6日 内容:大腸炎関連テーマを英語で再現 参加者:5名

開催日:② 12月23日 内容:麻酔関連の英語説明書 参加者:4名

開催日:③ 3月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 地域事業への在住外国人の参加促進

- ・国際交流ボランティア登録に外国人35名登録しSIFA事業(コミュニティ通訳などの事業)にて活動。Ⅱ-1-(1)参照
- ・文化庁委託事業「日本語交流活動の輪を地域に広げよう」にて運営委員に外国人参画。外国人ボランティア新規登録者10名以上。Ⅱ-1-(4)参照
- ・多文化まつりに外国人ボランティア24名参画。Ⅱ-3-(1)参照
- ・異文化理解出前講座「地球村ふらす」にて外国人ボランティア講師2名。Ⅱ-3-(3)参照
- ・子ども国際理解事業にて外国人ゲスト5名。Ⅱ-4-(1)参照
- ・CARES-Osaka事業(関西大学委託事業)で、留学生と地域住民との交流促進活動。Ⅱ-5-(2)ア参照

5 その他の外国人への支援

(1) 外国人児童生徒の支援

ア ハロハロSQUARE(外国にルーツを持つ子どもの学習支援事業)(吹田市補助金事業)
外国にルーツをもつ小学生～高校生の学習支援を、大阪大学グローバルイニシアティブ・センターとの連携事業として、大学生を含むボランティアと一緒に実施しました。在籍する受験生2名が公立高校に合格しました。他の子どもたちの励みになりました。甲南女子大学湯浅教授ゼミから14名が実習としてボランティアに参加いただきました。2月下旬以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室は中止しましたが、参加者に電話をするなどしてつながりを大切にしました。

① ハロハロSQUARE

開催日:4月12日～3月20日 全40回(内4回中止) 場所:SIFA

参加者延べ人数:小学生～高校生 374人 ボランティア 289人

② 夏休み自習室

開催日:7月26日、7月29日、8月2日 場所:SIFA

参加者延べ人数:小学生～高校生 6人 ボランティア 5人

③ ハロハロクッキングデー

開催日:12月1日 場所:南千里地区公民館

参加者:子ども12名 保護者7名 ボランティア7名

イ 外国籍児童支援事業(自主事業)

吹田市教育委員会主催の「日本語適応教室」に通う子どもについて、教育委員会や指導スタッフと情報や課題の共有をしながら連携、協力しました。

ウ 帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業(自主事業)

大阪府教育庁主催の「多言語 進路・学校生活サポートガイダンス」を通じ高校受験などの進路選択のための情報提供と相談などに協力しました。

開催日:11月28日 場所:摂津市コミュニティプラザ

主催:帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業 三島地区実行委員会

(2) 子育て中の外国人支援「こあらくらぶ」(吹田市補助金事業)

外国人ママ・パパが日本での子育ての不安を和らげる目的で、交流することによって子育ての悩みを共感し情報交換できる機会を作りました。2019年度は開催回数を2回増やして年8回にしました。身近な遊びや話題などでボランティアやほかの参加者と関わりながら、自ら積極的に参加できる子育て広場になっています。

第1回 開催日:5月17日 場所:SIFA 内容:新聞紙でかぶとづくり、歌

参加人数:ボランティア3名+子ども2名 / 外国人12名(6家族)

第2回 開催日:6月14日 場所:SIFA 内容:折り紙であじさい作り

参加人数:ボランティア3名+子ども1名 / 外国人8名(4家族)

第3回 開催日:7月5日 場所:SIFA 内容:手遊び、七夕飾り作り

保健師による相談会 講師:保健センター講師

参加人数:ボランティア3名+子ども3名 / 外国人9名(3家族)

第4回 開催日:9月13日 場所:SIFA 内容:親子で運動、絵本読み聞かせ

参加人数:ボランティア3名+子ども1名 / 外国人11名(4家族)

第5回 開催日:10月25日 場所:SIFA 内容:新聞紙でハロウィン飾り

参加人数:ボランティア2名+子ども2名 / 外国人7名(3家族)

第6回 開催日:12月6日 場所:SIFA 内容:福笑い、絵本読み聞かせ、親子で運動

参加人数:ボランティア3名+子ども1名 / 外国人9名(4家族)

第7回 開催日:2月3日 場所:のびのび子育てプラザ 中止

(新型コロナウイルス感染症の影響で参加者全員がキャンセルしたため)

第8回 開催日:3月6日 場所:SIFA 中止

(3) 行政情報などの提供(自主事業)

在住外国人にも日本人と同じように行政などの情報が届くように、外国人向け多言語メールリスト「ミヨリINFO」などを活用して、必要な情報を提供しました。法律や行政情報に合わせて、生活に役立つ情報やイベント情報も、やさしい日本語や多言語で提供しました。

ミヨリINFO登録者数:308名

ミヨリINFO発信回数:47回

主な提供内容:

件名:外国にルーツをもつこどものためのプレスクール 1月

件名:外国人のための一日インフォメーションサービス 2月

件名:外国人労働者のためのなんでも電話相談 11月、3月

件名:小学校・中学校の 入学手続き。4月から保育所に入りたいとき 10月

件名:外国人のためのビザ・帰化手続無料相談会 9月

(4) 使える日本語(自主事業)

講師による、「読む・聞く・書く・話す」の4技能を総合的に学習し、日常会話のできる中級学習者を対象に、社会参加を目指して更なるレベルアップを図る有料クラスです。3学期に作文と日本語でのプレゼンテーションにてミニ発表会を実施、学習者が自信をつける良い機会となりました。

開講日:4月～3月 全41回(内3回中止) 場所:SIFA 受講者延べ人数:162人

IV SIFA賛助会員

協会事業への支援、協力を得るために賛助会員を募り会費の確保に努めました。

個人会員	569名 (569口)
外国人会員	113名 (113口)
法人会員	15法人 (15口)
合計	(697口)

V その他

【参加・協力】(これまでに記載済みの内容は省略します。)

- ・大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議
- ・大阪府外国人相談窓口相談員・通訳者研修会
- ・大阪府外国人相談員ネットワーク会議
- ・大阪府自治体国際化推進連絡会議
- ・大阪府北ブロック健康危機管理対応訓練:外国人ボランティア派遣
- ・大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議
- ・大阪大学日本語日本文化教育センター留学生歓迎会

開催日:4月19日 10月18日 場所:箕面福利会館 主催:大阪大学(欠席)

- ・大阪大学外国人留学生修了パーティ

開催日:3月16日 場所:千里阪急ホテル 主催:大阪大学 (中止)

- ・大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会

開催日:2月21日 場所:大阪大学 大阪大学国際教育交流センター

- ・関西大学外国語学部加藤ゼミ:外国人インタビュー協力者紹介

日程:12月14日 場所:SIFA 依頼元:関西大学外国語学部 加藤雅人教授

- ・文化庁委託事業)関西大学大学院外国語研究学研究科「日本語教育専門家養成講座」

の見直し・拡充委員会の開催 (会議参加 10,500円×1名)

開催日:7月26日 場所:SIFA

主催:外国語教育・多言語交流センター(仮称)設置構想委員会

- ・吹田市立中学校の職場体験学習受け入れ

日程:11月13日～11月14日 人数:1名 市立豊津西中学校

日程:11月14日～11月15日 人数:1名 市立山田東中学校

日程:12月5日～12月6日 人数:1名 市立第一中学校

- ・吹田市地域国際交流推進協議会
- ・吹田市安心安全の都市づくり協議会
- ・吹田市多文化共生推進アドバイザー会議
- ・吹田商工会議所 新年懇親会
- ・ラコルタ利用者懇談会兼団体交流会
- ・千里ニュータウンプラザ連絡会議
- ・関西国際交流団体ボランティアネットワーク会議(KIV・NET)総会

【研修参加】

大阪府国際交流財団主催「やさしい日本語研修」

徳島県労働者福祉協議会 定住外国人の就労・社会参加支援事業視察

- ・文化庁地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修

【取材】

吹田市広報番組 第2回SIFA多文化まつり

【理事会・評議員会など】

(1) 理事会

- ・第1回通常理事会:令和元年5月14日

議案第1号 平成30年度事業報告及び決算の承認について

議案第2号 令和元年度収支補正予算書の承認について

議案第3号 理事及び監事の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について
議案第4号 令和元年度定時評議員会の招集について
報告第1号 理事長・副理事長職務執行状況報告

・第1回臨時理事会: 令和元年5月31日

議案第5号 理事長、副理事長及び専務理事の選定について

・第2回通常理事会: 令和2年3月10日

議案第6号 令和2年度事業計画書(案)について

議案第7号 令和2年度収支予算書(案)について

議案第8号 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて

議案第9号 中期計画「多文化共生アクションプラン」(案)について

議案第10号 令和元年度第1回臨時評議員会の招集について

議案第11号 職員給与規程の改訂について

議案第12号 事務局長選任の承認について

報告第2号 理事長及び副理事長職務執行状況報告

報告第3号 理事の辞任届について

報告第4号 基本財産の運用替えについて

(2) 評議員会

・定時評議員会: 令和元年5月31日

議案第1号 平成30年度決算の承認について

議案第2号 令和元年度収支補正予算の承認について

議案第3号 理事及び監事の任期満了に伴う次期役員選任について

報告第1号 平成30年度事業報告について

・第1回臨時評議員会: 令和2年3月19日

議案第4号 令和2年度事業計画書(案)について

議案第5号 令和2年度収支予算書(案)について

議案第6号 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて

報告第2号 中期計画「多文化共生アクションプラン」について

報告第3号 理事1名の辞任について

報告第4号 事務局長の任免について

(3) 公認会計士による決算監査の実施

・平成30年度決算監査: 平成31年4月26日

(4) 監事監査の実施

・平成30年度決算監査: 平成31年4月27日

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年 5月

公益財団法人 吹田市国際交流協会